

銚子ジオパーク市民の会 ニュース

第130号

2024年8月22日発行

発行責任者 工藤 忠男

銚子ジオパーク市民の会

URL: <https://choshigeopark.com>



屏風ヶ浦 (銚子市)

夏休みの自由研究はこれでバッチリ!!

親子で夏の自由研究ツアー

子供たちの夏休みの宿題・自由研究

の作成の手助けとなるツアーが銚子ジオパーク推進協議会主催銚子ジオパーク市民の会共催で、七月二十日から八月四日まで実施されました。

ツアーは七講座あり、銚子の自然を題材に、直接実物を見て触れて、夏の自由研究を進めていくもので、約140名の親子の皆さんが参加されました。今回のツアーにサポーターで参加された市民の会の三名の方に報告して頂きました。

市民の会 宮内敏・石嶋 千葉科学大学学生2名(博物館実習で参加)

三 参加者 神栖1、銚子1、旭4、匝瑳2の計8組親子で、男子6・女子4・父6・母4名の計20名。

四 スケジュール 9:30長崎町防災空地集合受付、10:00ガイドダンス、ヤドカリの採集

10:30昼休み、12:30八木町銚子市ジオパーク・芸術センター集合、13:00実験室で講義、ヤドカリの生態、貝殻選択の実験、15:00まとめ・後片付。

大潮の長崎鼻には、潮溜まりがあり、親子で簡単に採集でき、蟹や海星を見つけては歓声があがっていた。

ヤドカリの行動を探る

石嶋 博行

一 7月21日(日) 晴れ

二 講師 千葉大学 菊池友則先生、銚子ジオパーク推進協議会専門員 岩本・上田氏

21枚のスライド講義後、貝殻争いの観察をするため、万力で貝殻からヤドカリを取り出し、新しい貝殻を与えるとどんな行動をするのか色々と実験をして、親子で観察と実験を楽しむことができた。



長崎海岸でのヤドカリ採取

自由研究は、次の4ステップでできると先生は言う。

- ① テーマを考える
- ② 理由を考える・仮説
- ③ 実験・調査で確認する
- ④ 仮説の誤りは②へ戻る

きのこ探検隊

石毛 克也

糟谷先生から「キノコは何類?どんな種類でしょう?」子ども達から「動物でも、虫でもないし...」「スーパーの野菜売り場にあるから植物?」などと色んな意見が出て「きのこは、菌類! 植物でも、動物でもありません」「植物は、自分で栄養を作り出すことができますが、きのこは、木や、落ち葉、枯れ木、動物のフンなどから、栄養をもらい、生きていきます。栄養をもらったキノコは、土を分解したり、植物に水を与えたりして、森の土壌を豊かに共生しています」子ども達は「きのこってすごいんだね!」(次頁に続く)

実施日	親子自由研究ツアーの講座名	講師
7月20日	貝殻標本を作ろう	房州勝也氏
7月21日	ヤドカリの行動を探る	菊池友則氏 (千葉大学)
7月25日	洋上風力発電と風を知ろう	今井氏 (千葉銚子オフショアウインド合同会社) 銚子地方気象台職員
7月27日	きのご探検隊	糟谷大河氏 (慶應義塾大学)
7月28日	蟹気楼を観察しよう	大木淳一氏 (千葉県立中央博物館)
8月3日	目指せ化石博士	銚子ジオパーク推進協議会専門員
8月4日	銚子のマイクロプラスチックを調べよう	手束聡子氏 (千葉科学大学)

この日は、気温31℃、森の木陰で涼しいとはいえず、とても蒸し暑い中での、きのこ探検だったので、水分補給にしながら、ゆつくりペースで、きのこ探しがスタートです。はじめは、なかなかきのこが見つからなかったけど、目が慣れるに従い、枯れ木や、落ち葉の奥にある、きのこを発見できるようにまりました。子ども達は、きのこを見つけると、先生に「これ、見てみて!」自慢げに報告していました。



猿田神社でのきのこ探検隊

きのこの種別は何?